

＜新都市社会技術融合創造研究会＞

「橋梁の耐久性向上に資する排水構造と排水設備に関する技術標準の策定」

プロジェクトチームメンバー応募要領

1. 本研究テーマ(プロジェクト)の目的, 役割

本テーマは国土交通省近畿地方整備局「新都市社会技術融合創造研究会」の1つのプロジェクトとして、平成28年度に採択され、社会資本の整備、維持・管理に関わる産・官・学の連携協力による新しい技術の研究、普及等に関する事業を行い、もって都市再生と地域連携による経済活力の回復に貢献し、国民生活の質の向上、安全で安心できる暮らしの確保、環境の保全・創造に寄与することを目的とします。

2. 研究内容の概要

2.1 研究テーマの概要

研究テーマ名：橋梁の耐久性向上に資する排水構造と排水設備に関する技術標準の策定

プロジェクトリーダー：奈良敬教授

所属機関名：大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻

住所：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

研究期間：平成28年度～平成30年度の3年間

2.2 研究テーマの目的・目標

平成25年度から平成27年度に実施したプロジェクト「橋梁の耐久性向上に資する排水構造と排水設備に関する技術開発研究」において橋梁点検調査に基づき、腐食損傷の課題を明らかにし、損傷橋梁を抽出して試験施工メニューを提示し、桁端防食、伸縮装置の取り替え、床版防水など、対象橋梁を絞って試験施工を実施、その過程において、技術標準を目指した手引き案を提示した。引き続き試験施工した橋梁のモニタリングや手引き案のスパイラルアップが必須であることから、水を制御した橋梁の耐久性向上の取り組みがスタートしたと言っても過言ではない。

本研究テーマは、技術標準の策定を目的として、腐食損傷調査、補修・補強メニュー、モニタリングを通して、橋梁の耐久性向上の改善サイクルが機能する仕組みを確立することを目標とするものである。

2.3 研究テーマの方針・実施内容

橋梁の主構造に期待される寿命に比較して、主構造の耐久性に大きな影響を与える伸縮装置や排水設備の機能的寿命は著しく短いのが現状である。供用開始後のこれらの不具合が、主として腐食をはじめ材料劣化という現象により、橋梁の耐久性を損ねていることは、周知の事実であるが、未だ抜本的な対策が十分ではないのが実状である。この現状に、きちんと科学のメスを入れ、橋梁が主構造や床構造などの構造部材、舗装や地覆などの道路構造、さらに伸縮装置や排水設備などの、寿命や機能の異なるパーツから構成される橋梁システムと考えて、システム全体で健全性を一定レベルに維持することを目指す。

2.4 研究概要（研究項目、研究の実施体制等）

排水機能を長期間制御して、耐久性を実現できるように、次のような技術開発が促進されるように、橋梁の腐食環境、橋梁への腐食負荷と、新設あるいは補修・補強された橋梁の腐食耐性を整理する。

- A) 地覆、壁高覧等の強制目地、ひび割れ内に浸透、流れる雨水の止水、排水の対策に資する技術開発
- B) A) に基づき、橋面勾配、橋面防水工、橋面排水構造、舗装内雨水の排水構造の技術開発
- C) 劣化し易い構造をもち、止水材の劣化が顕著な伸縮継手構造の技術開発、

- D) 伸縮継手全面での滞水，漏水対策の技術開発
- E) 支承回りの滞水，支承の腐食の抑制技術開発
- F) 桁端の部材のかぶり損傷，鉄筋の腐食，鋼桁の腐食の抑制技術開発
- G) 伸縮継手，支承，桁端の維持管理のし易い構造の技術開発

3. 応募資格

本テーマ（プロジェクト）の趣旨に賛同し，研究テーマに興味・意欲をもって，積極的に研究活動に参画できる個人・組織を求めています。橋梁全般にわたって，対象が多岐にわたることから，出来るだけ多様な分野の技術者の参画を促し，次のようなメンバーで構成したい。

- ・ 橋梁の維持管理に実績ならびに意欲のある若い学識経験者
- ・ 橋梁維持管理に関連する各種法人ならびに関連団体の委員
- ・ 橋梁の維持管理を担当する国交省近畿地方整備局のベテランならびに若手技術者
- ・ 一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会ならびに鋼橋関連各社の技術者
- ・ 一般社団法人 日本橋梁建設協会近畿建設コンサルタンツ協会ならびにPC関連各社の技術者
- ・ 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会近畿支部ならびに建設コンサルタント各社の技術者
- ・ 日本道路ジョイント協会ならびに関連各社の技術者
- ・ 建材メーカー団体ならびに建材メーカーの技術者
- ・ 橋梁付帯設備や素材メーカーの技術
- ・ その他，排水，維持管理に関連する組織，個人

なお，最終的な個人・組織の参加決定については，プロジェクトリーダーが判断します。

4. 応募期限

平成28年7月26日（火）必着

5. 応募方法

応募用紙に必要な事項を記入し，下記新都市社会技術融合創造研究会事務局宛にメールによる提出をお願いします。

[※応募用紙（word）をダウンロード](#)

応募用紙には，プロジェクトに参画するにあたり研究テーマの趣旨をふまえた参画目的，研究したい個別テーマ，留意点，考え方，思い，等について，具体的に記入して下さい。最終的な個別テーマ，研究の方向性については，プロジェクトチーム会議において決定します。

- ・ 宛先：新都市社会技術融合創造研究会事務局（国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所）
- ・ e-mail：ls-gijyu02@kkr.mlit.go.jp

【今後の予定】プロジェクトチーム会議の開催

第1回プロジェクトチーム会議は平成28年8月22日（月）or26日（金）午後に開催予定です。

<新都市社会技術融合創造研究会>

●研究テーマ:橋梁の耐久性向上に資する排水構造と排水設備に関する技術標準の策定
プロジェクトチームメンバー 応募用紙

<p>1. 代表者等</p> <p>組織名:</p> <p>代表者氏名:</p> <p>連絡窓口氏名:</p>
<p>2. 代表者の連絡先</p> <p>住所:</p> <p>電話・FAX 番号:</p> <p>e-mail:(代表者)</p> <p>e-mail:(連絡窓口)</p>
<p>3. プロジェクト参画方針(参画目的, 研究したい個別テーマ, 留意点等)</p>